美味楽Shop

Cafe&Atelier inukoubou（犬工房）

「作る喜び」に溢れた新機軸のカフェ

見ているだけで仲が良いのが伝わる、ほのぼのチームワーク。左から東さん、大浦店長、吉永さん

内装のほとんどがスタッフ全員による手づくり。奥のテーブル席ではワークショップも開かれる。

青空と自然の緑の中にいきなり出てくる無機質な外観。不思議と相性抜群!

晴れた日のテラス席の心地よさは最高! ペットと一緒にのんびりした時間を過ごせる。

ワンちゃんが走り回れるスペースも! 店長の愛犬、ロミちゃん。

パンランチ1500円（税込）。メニューは週替わり。写真はジャガイモのポタージュスープ、ミートボール・デミトマトのラグー、手作りパン、自家製ドレッシングの季節サラダ、プレート（長芋のグラタン、トマトのマリネ、野菜のテリーヌ、グリーンオリーブのサブレ、ラディッシュのトマトペーストクリームチーズ）。コーヒー・デザート付。

府道221号線を岩湧山方面に進む、その澄んだ空気と緑あふれる風景に肩の力が抜けてきたころ、水色の不思議な建物が現れます。

3月にオープンしたばかりの「inukoubou」。実はここ、ネットではすでに「犬工房」として、手作りの首輪やリードが大人気の店。それが今回、満を持して、カフェと雑貨の販売を兼ねたリアルショップとしてオープンしたというわけなのです。

外観は無機質なインダストリアル風。けれど一歩中に入ると木の香りがふんわり。古材をリサイクルしたテーブル、ピザの石釜、センスの良い雑貨、お行儀よく並ぶ真っ白な手作りパン…。まるでアメリカの大自然にある大工さんの隠れ家のようなイメージです。「はぁ、落ち着く〜！」と声に出してしまうほどの居心地の良さ！ 広い窓から見える木々も、まさに自然のアート。テラス席の近くにはミニ・ドッググラウンドが用意されていて、ペット連れの方ももちろん落ち着ける空間。ペット連れでなくとも、ここのパリッ、モチッ、トロ〜リ！なピザは、来て食べる価値あり。食感が忘れられなくなる事、保証付きの美味しさです。

「作るのが好きで、自然にここまで来た感じです。これからはワークショップも開く予定で、どんどん居心地の良い場所にしていきたいです！」と店長の大浦さん。最初は自分のペット用から、一つ一つ周囲とのつながり、チャンスを誠実に形にしていった彼女。笑顔に不思議な「力強さ」を感じる人で、スタッフのほのぼのとしたムードと絶妙なバランスができ、店全体がヒーリング・スポットのような空気に。

ショップの手づくり雑貨の持つイメージが、ここまで理想的に形になった実店舗は珍しいのでは。「作ることが楽しい、嬉しい！」という笑顔が溢れるこの工房では、心も胃袋も、そしてペットもストレスを忘れることができること間違いなしです。

大人気のピザランチ（1500円:税込）。ランチセットのメインとパンがピザに代わる。具は週替わりか、マルゲリータのどちらかをチョイスできる。写真はナスとしめじのトマトベースのピザ。

季節の果物とたっぷりの生クリームで幸せ! シフォンケーキセット（600円）。

Cafe&Atelier inukoubou（犬工房）
- 住所：大阪府河内長野市加賀田765-3
- Tel：0721-21-5361
- 営業時間
  ランチ 11:00-14:00
  カフェ 14:00-17:30
- 営業日：木・金・土曜日
- 駐車場：8台

ネットショップで人気の雑貨が手に取って見られるのも嬉しい。

1/2 DAY TRIP 河内長野発▶

楽しく創る・学ぶ・出会う生涯学習施設 大阪市立クラフトパーク

「世界でたった一つ」のクラフトにトライ

大阪市平野区にある「手づくり工芸」の公共施設。充実した設備を備えた木工・染色・織物・金工・バーナーワーク・ステンドグラス・キルンワークの8つの工房があり、専門指導員が付いて初心者でもステップアップしながら本格的に学べる創作教室を開催。それぞれ3カ月毎に開講、週1全10回で基礎→本科→専科と進めるほか、糸紡ぎ・七宝・切子ガラス・サンドブラスト・トールペイントの教室もあります。

一方、「とりあえず創ってみたい」という人には日曜を中心に開催する「1日体験教室」（2,000円〜・要予約）がおすすめ。とんぼ玉を創るバーナーワークなど小学生から参加できる6つの教室があり2時間半で完成。「作品は一点もの。大切な人へプレゼントするために創りに来られる方も多いですよ」と広報担当の鶴田徳子さん。夏休みには子ども対象の「夏休み体験教室」も。教室の詳細はホームページで確認の上、申し込みは電話か窓口で。

工房は窓越しにいつでも見学OK。こちらはバーナーワーク教室。

1階には大阪伝統工芸の作家作品を展示即売するクラフトショップも。

陶芸教室では地元の「六反土」も使用。

1日教室は金工・ステンドグラス・サンドブラスト・バーナーワークの他、織物・陶芸も（写真はイメージ）。

毎週約1,000人の受講生が通う「手づくり工芸」の公共施設。

●大阪市平野区長吉六反1-8-44　TEL:06-4302-9210(火曜休館)
http://www.craftpark.net
●JR大和路線・おおさか東線「久宝寺駅」から近鉄バスで「クラフトパーク」下車、または徒歩20分

みなみかわち・なんでも調査隊 〜あなたのナゾにお答えします!〜

Q 河内長野で生まれた「つまようじ讃歌」があるとか。どんな歌なの？

You Tubeでも人気！広がる感動の輪

「にぎわいプラ座」で開かれる歌声喫茶で歌われているという情報を聞きつけて、河内長野駅前商店街にある会場を直撃取材しました。懐かしの童謡に交じって、その歌は終盤に。歌を指導される筒井幹夫さんに話を伺うと「つまようじ讃歌は2013年秋に誕生しました。♪ちょちょちょいちょい…歯切れのいい歌詞とシンプルなメロディで大人気です。つまようじ音頭、小唄、演歌、タンゴと4つのバリエーションがあってYou Tubeでも流していますが、ラップも加えてほしい

三、
きょうは きょうは
きょうは大事な お茶の席
お菓子切る手も しとやかに
四角い 黒文字
ちょちょちょちょい ちょい
ちょい ちょい ちょいちょい
しぐさが語る 和のこころ
四、
丸に 丸に
丸に三角 四角あり
同じ細身の 一本気
世界のどこでも
ちょちょちょちょい ちょい
ちょちょい ちょいちょい
ちょい ちょいちょい
河内長野を 支えてる

と若い人からリクエストが来るほどです（笑）」。

作詞作曲は仙台市在住のアマチュア音楽家、寺門隆弘さん。きっかけは、還暦を過ぎて通信制大学に入学し河内長野の地場産業である爪楊枝をテーマに卒論を書いた古後靖弘さんの熱い想いに「学友」の寺門さんが感動したことに端を発するとか。その後、市内にある爪楊枝メーカー広栄社の稲葉修会長や音楽療法士の武村まみさんも「歌を普及させたい」と活動を応援。8月6日（木）キックスで開かれる健康推進事業のイベントでは武村さんが歌を披露します。

（左から）「つまようじ讃歌普及させ隊（?!）」の古後さん、稲葉さん、筒井さん、武村さん。

つまようじ讃歌で盛り上がる「にぎわいプラ座の歌声喫茶」。毎月第3土曜日14時〜。参加費500円（飲物・菓子付）。問合せTel:0721-26-7858

質問を募集しています!「ここになぜこんなものが?」「この由来は?」など、街の中でふと感じたクエスチョンをお寄せください。あなたに代わってお調べします。応募先は欄外の宛先へハガキまたはFAXにて受付いたします。

ガス火でおいしく!! カンタン♪本格♪Cooking 手作りピザ

crassimo

●1枚分（直径18〜20cm）
(a) 強力粉　50g
　　薄力粉　50g
　　ベーキングパウダー　小さじ1/2
塩　小さじ1/2
砂糖　小さじ1/2
温水　60cc
オリーブ油　大さじ1
お好みの具材

1. ボウルに(a)を入れる。
2. 温水にオリーブ油を入れる。
3. ①に 塩・砂糖 をはかって入れ、さいばしでグルグル混ぜる。
4. さらに②を加え、さいばしで混ぜる。
5. 生地 がなめらかになるまで、手で５分ほどこねる。
6. 生地 をまるくまとめ、ラップをかけて休ませる。
7. 生地 をめん棒で丸く広げる。
8. フォークで 穴 をあける
9. ソースをぬり、お好みの具材とチーズをのせる。
10. 軽くシワをよせたアルミホイルの上にのせ、焼く。

プロが教える!
◆魚焼きグリルの場合
上下強火で４〜５分 具材により７〜８分
◆オーブンの場合　220℃ ７〜８分

このまち大好き! 未来を拓くアントレプレナー／シリーズ1

アトリエ・ノアノール
atelier NOAHNOOR 代表 天川 麻子さん

想いに寄り添う、クリエイティブを。

今号から始まった「このまち大好き! 未来を拓くアントレプレナー」シリーズ。ビジネスで地域を元気にしようという起業家をご紹介します。第一弾は、河内長野でデザイン企画制作事務所を運営する天川麻子さん。専門はグラフィックデザインですが「つくるつながるコミュニティ」をキャッチフレーズに、地域の人たちと一緒につくるイベントを催したり、自主発行のフリーペーパーをリリースしたり。奥河内の魅力を次々と発信しています。

キャラクター 奥河内リヴ ©Westfield

1日のスタートはお弁当づくりから。限られた時間を最大限に活かす秘訣は早朝起床による「朝活」。

11年前、結婚を機に横浜からご主人の郷里である河内長野へやってきた天川さん。出産や育児で6年間の専業主婦生活を経て、再びフリーランスのグラフィックデザイナーとして仕事に復帰して5年。現在はどんなお仕事を？

「地域に住む女性クリエイターと組み、パンフレットやポスター、ウェブサイトなどの広報物のデザイン企画制作を行っています。また、自主媒体の地域情報誌とウェブサイト『奥河内．info』やコミュニティイベントを運営して地域の人々をつないでいます。依頼業務として請けるだけではなく、企画から制作・営業・PR・運営まで、地域在住の私たちだからできることだと考えています」。

右腕のMacと。事務所名「atelier NOAHNOOR」は、「ノア」の箱舟+「光」を表す「ノール」の造語。

「ボンボンマルシェ」や高野街道まつりに開催する「フード＆クラフト奥河内コレクション」など、地域を元気にするイベントを次々と生み出しておられますね。きっかけは？

「地元のイベントに私自身が手作りのものを出品したことです。そこでお客様と関わる楽しさに魅せられて、その後イベントを催す側に回って、人が集まる場そのものがメディアになると気がつきました。もう一つは東日本大震災です。日本中に地域の力を見直す動きが広がり、私もデザインや企画の力を地域のメディアに吹き込みたい、『つながりたいから、つくりたい』と思いました。地域に住む人こそ最強のメディアです」。

「想いがあれば地域で活動することはできる。でも、それだけでは持続しない。きちんと対価を受け取って仕事をつくっていくべきだと思いました。周りを見ると独身時代に身に付けたスキルを眠らせている女性がたくさんいる。声をかけると『河内長野でそんな仕事ができるの？』と振り向いてくれました。それだけでなく『スキルはないけど配布なら』『イベントの手伝いなら』とフォローしてくれる地域サポーターも現れ、少しずつ仕事になっていきました。何より企画に商店主さんや企業の方が協賛してくださるのがうれしいですね」。

制作物の数々。奥河内の魅力的な人やショップ、イベント情報満載の「奥河内.info」は、自主発行のフリーペーパー。2013年春の創刊から8号目。オリジナルキャラクターの「リヴちゃん」も大人気。

プロフィール 天川 麻子（あまかわ あさこ）さん Profile

横浜生まれ。東京で美術大学を卒業後、広告代理店に勤務。2004年から河内長野市南花台に転居。デザイン企画制作事務所「atelier NOAHNOOR（アトリエ・ノアノール）」代表。家族はご主人と小学生のお子さん2人。趣味は料理とお酒。
●atelier NOAHNOOR http://noah.noor.jp/

時間に追われるワーキング・マザー。家庭と仕事の両立に悩むこともあるのでは？

「もちろん悩みはいっぱい。でも、やってこられたのは商店主さんや旅館の女将さんなど先輩女性たちの『大丈夫、なんとかなる！』という言葉です。本当にみなさんに支えられて…関西弁はまだまだですが、もう、この地から離れられません（笑）」。

主催イベントにて。「奥河内の魅力は自然豊かなこの空気感です!」

つくる つながる コミュニティ BON! BON! MARCHE

日時 7/4（土）10:00〜15:00
場所 リビングセンター長野 ショールーム「クラッシモ」

おいしいもの・かわいいもの・たのしいこと いっぱいのマルシェです

テーマは夏祭り

「みんなでつくる参加する」をモットーに地域のコミュニティを目指すボンボンマルシェ。今回は「クラッシモ」の会場に夏をたのしむ体験・ワークショップや、フード・ドリンク・ハンドメイド・雑貨などのブースがズラリ! 人気の地産地消フード企画では「イタリアーノ アランチャ」や「Bb cafe」のシェフが登場。
●主催　atelier NOAHNOOR　●問合せ　marche@okukawachi.info
●URL　bonbon-marche.info
P有=タイムズ（1時間まで無料）
※受付にてお申し出ください。台数に限り有

BON! BON! MARCHE　crassimo

ホンモノはどれ？

応募方法

ホンモノの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、本誌の感想・要望などを明記の上、欄外の宛先「ホンモノはどれ？」係へハガキ、またはファックスでご応募ください。

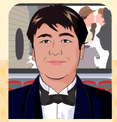
※6月末日締切 消印有効。
※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
〈No.264の正解は⑨でした〉

正解の方から抽選で図書カード（2000円）を5名の方にプレゼントします。

社員からのおすすめ情報

「感動と恐怖」のお勧め

リビングセンター長野　川口　貴士


プラモデル作りとラーメン食べ歩きが大好きです。

皆様初めまして。リビングセンター長野のLP維持管理チームの川口といいます。最近はあまり行けてないのですが私は以前、平日に休みをいただいた時には一人で映画鑑賞へ行っていました。中でも感動する映画とホラー映画が大好きで、一人で泣いたり、もしくは怖がったりもしていました。今回は私が「コレは!」と思った映画を2つ皆様に紹介したいと思います。（知っている方がいたらスミマセン）

１つは1997年の映画「ライフ・イズ・ビューティフル」です。あるイタリア人男性の物語で、普通に幸せな家庭を築いていたのですが時代は第2次世界大戦中。戦争で暗い影を落としながらも明るく生き、我が子を元気づける為に命を懸けて１つの嘘をつき通すという映画です。ご家族で鑑賞していただけると号泣必至です!

2つめは2001年のホラー映画「アザーズ」です。こちらも設定は第2次世界大戦中ですが、とある屋敷に2人の子供と住んでいる女性の身に起こる恐怖の物語です。夫が戦争に行ってしまい、屋敷に3人の使用人を雇うのですがそれから様々な異変が起こります。しかしホラーといっても残虐なシーンは全然ありません、代わりにジワジワくる恐怖が十分に味わえることと思います。そしてなんとラストは…秘密です。

まだまだお勧めはあるのですが、また機会があればご紹介したいと思います。皆様も「これは良かったよ!」という映画があれば教えてください。